

子宮頸がんに対して放射線治療を受けられた患者さんの 情報を研究に利用することについてのお知らせ

九州医療センターでは、下記の臨床研究を実施しております。本研究に関するご質問等がありましたら下記の[当院の問い合わせ窓口]までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、当該研究にカルテ情報が用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としますので、下記の[当院の問い合わせ窓口]までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。なお、研究の進捗状況によっては、あなたのデータを取り除くことができない場合がございますので、ご了承ください。

[研究課題名] 3次元画像誘導小線源治療を用いた子宮頸がん根治的放射線治療の成績

[当院の研究責任者] 九州医療センター 放射線科 大賀才路

[研究の背景]

子宮頸がんには根治を目的として放射線治療が行われます。放射線治療は外から放射線を当てる外部照射と放射線の出ている線源というものをを用いて内側より放射線を当てる腔内照射からなり、これらを併用することで良い治療成績を得ることが可能です。腔内照射は CT 画像を用いて3次元的に放射線の当てる量を計画することで、子宮頸部のがんを制御できる可能性が高くなります。当院でも以前より腔内照射は CT 画像を用いて3次元的に放射線の当てる量を決めてきました。

[研究の目的]

子宮頸がんに対して根治を目的として3次元的に計画された小線源治療を併用した放射線治療を受けた方々の治療効果を解析し、現在、実施中の治療法の問題点を抽出し、更なる治療効果改善に向けた方法を検討します。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

子宮頸がんの患者さんで、2013年1月1日から2017年12月31日の間に根治を目的として3次元的に計画された小線源治療を併用した放射線治療を受けた方

(臨床研究に関する公開情報/単施設実施用)

●研究期間：倫理委員会承認日から2026年6月30日

●利用するカルテ情報

2013年1月1日から2020年4月30日までのカルテ情報を使わせていただきます。

カルテ情報：診断名、年齢、性別、治療開始時期、併用化学療法の内容、身体所見（診察所見：病変の進展範囲、治療後の腫瘍の状態及び障害）、検査結果（血液検査、画像検査、病理検査の結果、画像所見）、放射線治療内容（外部照射線量・照射範囲、腔内照射線量・照射範囲）。

●情報の管理

情報は当院のみで利用します。

[研究組織]

この研究は、当院のみで実施されます。

[個人情報の取扱い]

情報には個人情報が含まれますが、利用する場合には、お名前、住所など、個人を直ちに判別できるような情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も個人を直ちに判別できるような情報は利用しません。情報は、当院の研究責任者が責任をもって適切に管理いたします。

[当院の問い合わせ窓口]

国立病院機構九州医療センター

放射線科 大賀才路

〒810-8563 福岡県福岡市中央区地行浜 1-8-1

電話 092-852-0700